

「共同募金」の使いみち

共同募金運動の事業費は合計266万3,697円でした。地域福祉事業(ボランティア活動推進など)、歳末たすけあい事業(在宅の重度障がい者など)にそれぞれ配分され、下表のとおり各種事業や慰問金として使用しました。

地域福祉事業		歳末たすけあい事業		
高齢者福祉活動費	184,862円	自立支援世帯	13件	156,000円
社協だより発行	120,135円	在宅介護者世帯	5件	60,000円
ボランティア活動推進	238,700円	重度身体障がい者	72件	864,000円
ひとり親家庭等入学祝金	270,000円	重度心身障がい者	25件	300,000円
おもちゃ図書館運営助成	50,000円	準要保護児童	14件	168,000円
地域活性化促進事業	60,000円	準要保護生徒	16件	192,000円
合計	923,697円	合計	145件	1,740,000円



手話教室『手話で話してみよう!』

3月12、19、26日の3日間、文化会館で開催した手話教室に8人が参加しました。講師に甘楽町聴覚障害者の会代表の土筆信幸さん(白倉)、手話通訳士の土筆悠さん(白倉)の2人を迎え分かりやすく、楽しく手話を学べる時間となりました。

はじめに、耳の不自由な人が聞こえない理由や、どのようにコミュニケーションを図ればよいかについて実体験を交えながら解説があり「手話は見る言葉」と説明されました。

講義では、食べ物やスポーツなど形や動きの特徴を捉えた表現のほか、日常で使うあいさつや、指文字を使った自己紹介を学習。さらに、数字や年号・生年月日・金額・時刻などの表現にも挑戦しました。

参加者からは「楽しかった」「良い雰囲気ですることできた」「良い勉強になった」など大好評でした。



くらしや仕事のことで困っていませんか?

自立支援相談窓口 を開設しました

失業などで生活に不安を抱えている人の相談窓口を、4月から社会福祉協議会に開設しました。

「どこに相談したらいいかわからない」「生活が苦しい」など、一人で悩まずご相談ください。

利用できる人

以下のすべてに当てはまる人

- ✓ 失業などで生活に困っている
- ✓ 生活保護を受給していない
- ✓ 甘楽町・下仁田町・南牧村に住んでいる

相談無料

相談窓口

甘楽町社会福祉協議会
(にここ甘楽内)

問合わせ

TEL 74-5700
FAX 74-5760

開設時間

月曜日から金曜日
8:30~17:15
(土日祝、年末年始は休業)



- ### 令和8年度事業計画・収支予算が決定
- 令和8年度の社会福祉法人「甘楽町社会福祉協議会」の重点目標・収支予算が、3月12日の理事会、3月27日の評議員会で承認されました。概要は次のとおりです。
- #### 重点目標
- 1 社会福祉協議会の基盤の拡充強化を図り、組織の充実、財源の確保(賛助会員等)・事務の円滑化を図ります。
 - 2 福祉センター、地域活動支援センター、こどもクラブなどの施設が広く住民に親しまれ、効率的に利用されるよう創意と工夫をこらして事業の推進にあたります。
 - 3 在宅福祉サービス事業をはじめとする町受託事業について、利用者の立場に立った真心サービスに徹し、事業の充実を図ります。
 - 4 地域福祉の充実を図るため、ボランティア会員の拡充を推進し、ボランティア活動の振興を図り、ボランティア団体の活動を支援します。
 - 5 各種相談事業・調査・情報提供・研修会などを広く開催し、自立と連帯に基づいた地域社会づくりを実践します。
 - 6 学校教育及び社会教育分野などと連携を密にし、福祉教育・啓発活動を推進します。
 - 7 事業者として、利用者の自立支援を目的とした生活の継続性、自己決定の尊重・残存能力の活用など、制度に基づいた介護保険事業の健全な運営を図ります。
 - 8 生活支援コーディネーターの設置により、介護予防・日常生活支援事業などの総合支援事業の推進を図ります。
 - 9 成年後見制度の利用を促進するため、制度の周知・相談・後見人支援などを行い、専門職や関係機関との地域連携ネットワークの構築を図ります。

収支予算の概要

- 法人運営、敬老事業、在宅福祉サービス、共同募金、介護保険事業、地域支援事業や福祉センター、地域活動支援センター、こどもクラブの管理運営を行っています。

敬老事業の様子



(単位:万円)

収入		支出	
科目	予算額	科目	予算額
会費・寄付金	294	人件費	13,606
補助金	3,110	事業費	2,856
受託金	8,295	事務費	1,692
事業収入	1,678	共同募金	334
介護保険事業	4,529	助成金・負担金	30
その他	1,227	その他	615
合計	1億9,133	合計	1億9,133

善意の紹介 (順不同)

寄附物品

- 株式会社ヨコオデイリーフーズ(横尾浩之代表取締役社長)
タオル 100本
※こどもクラブなどの施設運営に使用します

一般寄付金

- 河原建設株式会社(河原茂夫代表) 5万円
※地域福祉推進のために使用します。

赤い羽根共同募金

- 小幡小学校児童会 25,387円
- 福島小学校児童会 4,852円
※ボランティア活動など福祉活動に配分します。

~善意に深く感謝し、
広く皆さんにお知らせします~